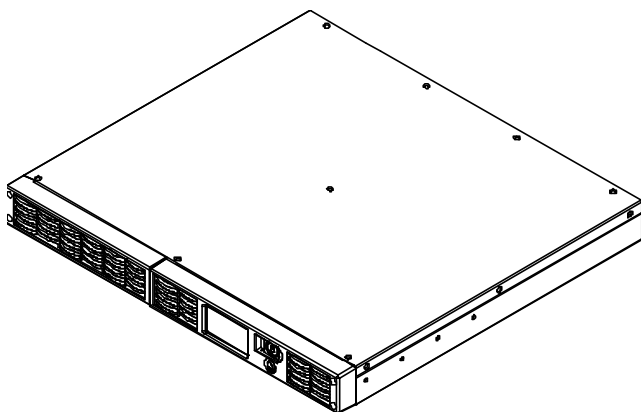


CyberPower®

Smart App UPS Sinewave Series

型番: PR1000LCDRT1U JP

取扱説明書



ユーザーズマニュアル

目次

1 はじめに	4
2 重要な安全上のご注意	5
3 製品紹介	12
4 LCD 機能セットアップガイド	16
5 接続	19
6 運転	27
7 バッテリ交換	29
8 障害警告表示およびアラーム	32
9 故障かな？と思ったら	34
10 仕様	37
11 省エネルギー技術 GreenPower UPS™対応	38

12 保証規定	39
13 安全規格適合宣言	42
14 保証書	43

1 はじめに

この度は、弊社 UPS(無停電電源装置)をお買い上げ頂き、誠に有難う御座います。
このマニュアルでは、CyberPower UPS(無停電電源装置)の、安全上の注意事項、
機能及び操作方法を紹介しています。

本装置を使用する前に必ずこのマニュアルをお読み下さい。

又、読み終わった後も、必要な時にすぐ読むことができるように大切に保管して下さい。

2019年6月第1版

- 本書の内容は、予告無しに変更される場合があります。
- 本書の内容の一部又は全部を、無断で複写や転写しないで下さい。
- 本書の中で使用している画像の一部は実際の製品と異なる場合が御座いますが、機能的な違いは御座いません。
- 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、誤りやお気付きの点、御不明な点が御有りでしたら、弊社までご連絡下さい。
- 本書に書かれた注意事項を守らずに使用された場合、弊社は責任を負いかねます。
- 本装置の運用を理由とする損失、逸失利益については、弊社は責任を負いかねます。





株式会社サイバーパワー・ジャパン

2 重要な安全上のご注意


ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、本装置をご使用頂く前に必ず以下の注意事項を熟読し、正しくお使い下さい。

このマニュアルには色々なマークを記載していますが、その意味は下記のようになっております。内容をよくご理解いただいたうえで、本文をお読み下さい。

マークの説明

 危険	誤った取り扱いをした場合、死亡したり、重傷を負う危険性があります。
 警告	誤った取り扱いをした場合、負傷や物的損害を蒙る危険性があります。
 禁止	安全のために絶対にしてはいけない「禁止」の内容です。
 強制	安全のために必ずしなければならない「強制」の内容です。

基本注意事項

 禁止	
<ul style="list-style-type: none">● 本装置は一般家庭、一般事務室におけるコンピュータの周辺機器としての使用を前提に開発されたものです。次のような用途では絶対に使用しないで下さい。<ul style="list-style-type: none">・ 全ての医療機器や、生命に関わるような機器等への使用。・ 人身の損傷に至る可能性のある交通機関、エレベーター等への使用。・ 社会的・公共的に重要なコンピュータシステム等への使用。・ レーザープリンタ、シュレッダーなどの大型電気製品や工作機械等への使用。・ これらに準ずる装置等への使用。	

基本注意事項

危険

- 感電の恐れがありますので、本装置のカバーは取り外さないで下さい。
本装置の中に、ユーザーが使用可能な部品は入っていません。
- 入力プラグが抜けている状態でも、本装置内部の危険な帯電部が、
バッテリーにより通電されていることがあります。
- 本装置は、ヒューズ又はブレーカーにより保護された壁面コンセントに接続して下さい。
- 感電を避けるため、コンピュータを接続する前に本装置の電源を切り、壁面コンセントから入力プラグを抜いて下さい。

設置に関する注意事項

警告

- 本装置は前後及び左右に 10cm 以上の空間を設けて設置して下さい。
- 本装置の通風口は塞がないで下さい。
- 本装置の上に物を載せないで下さい。
- 本装置を、火や火花が発生する恐れのあるものに近付けしないで下さい。
爆発したり、破裂したりする危険があります。
- 火災や感電を防止するため、温度・湿度制御された室内の、導電性物質を避けた
場所に設置して下さい。
使用環境温度・湿度は、使用欄に記載された許容範囲を参照して下さい。
- 仕様欄に記載された使用環境温度・湿度の許容範囲から外れた場所、直射日光
やストーブ等の熱源から熱を直接受ける場所、屋外や乗り物など振動や衝撃が加
わる恐れのある場所、可燃性ガスや腐食性ガス、塩分などがある場所では使用しな
いで下さい。

設置に関する注意事項

⚠ 警告

- 花瓶や水槽等、水の入った容器を、本装置の近くに置かないで下さい。結露などによる感電や火災を起こす恐れがあります。
- 本装置をほごりの多い場所に設置しないで下さい。ほごりがたまり、感電や火災を起こす恐れがあります。
- 延長用の電源ケーブルや、たこあし配線となるアダプタは使用しないで下さい。

使用上の注意事項

⚠ 危険

- 使用の前にケーブルやプラグ、出力コンセント、壁面コンセントに破損のないことを確認して下さい。
- ケーブルやプラグ、コンセントの接続が不完全なまま使用しないで下さい。ショートや発熱により感電や火災の危険性があります。
- 本装置から異常な音や異常な臭い等、何らかの異常を感じたときはすぐに停止し、本装置の電源を切り、壁面コンセントからプラグを抜いて下さい。
- 感電の危険性がありますので、通風口や出力コンセントなどに棒や指などを入れしないで下さい。
- 入力プラグは絶対に出力コンセントに差し込まないで下さい。電流の還流によるアークが発生し、火傷や視覚障害等を蒙る恐れがあります。
- 本装置が運転している状態で入力プラグを抜かないで下さい。
- 本装置の移動は必ず本装置の電源を切り、壁面コンセントからプラグを抜いた状態で行って下さい。
- 本装置は内部にバッテリーを搭載しています。入力プラグが壁面コンセントに接続されていない場合でも、裏面コンセントから出力されていることがあります。

本装置に関する注意事項

警告

- 本装置はコンピュータの周辺機器として設計されています。
- 接続する機器の消費電力の合計が、仕様欄に記載された容量を超えないようにして下さい。
- トランスやインダクタなど巻線類の負荷には適合していません。
- シーケンサなどの工作機械やレーザープリンタ、シュレッター、複写機、室内暖房器、電気掃除機、排水ポンプ、その他大型電気製品を接続しないで下さい。
- 本装置には寿命があります。寿命が来たら新しい UPS を購入し、交換して下さい。寿命を過ぎた UPS は火災の原因になることがあります。
- 本体寿命目安 9～12 年(環境温度/湿度/ほこり/充放電の頻度による)

バッテリーに関する注意事項

危険

- バッテリーは必ず定期的に交換して下さい。
- 寿命を過ぎたバッテリーは液漏れする場合があります、発煙や火災の原因となる恐れがあります。
- バッテリーから液漏れや異臭、発煙など異常が発生した時は、バッテリーに触れないで下さい。
- バッテリーの液が皮膚に付着したり、目に入った場合はすぐに流水で洗浄して、医師に相談して下さい。
- バッテリーの寿命は使用温度条件や負荷容量、充放電回数などによって大きく変化します。
- バッテリーを火の中に入れて下さい。また、たばこやライター等の火気は絶対に近づけないで下さい。

バッテリーに関する注意事項

危険

- バッテリーを交換する際は、必ず本装置の電源を切り、本装置に接続している全ての機器を外し、壁面コンセントから入力プラグを抜いた状態で行って下さい。
- 本装置のバッテリー運転中は、バッテリーを装置から取り外さないで下さい。
- バッテリーを取り扱う際に、感電や火傷を負う恐れがあります。バッテリーの交換を行う時は時計、指輪、ネックレス又はその他の金属物を体から全て外し、絶縁された工具を使用して作業を行って下さい。
- バッテリーの周辺に工具や部品などの金属物を置かないで下さい。バッテリーのコネクタが金属物に触れると装置の故障だけでなく、感電や火傷を負う恐れがあります。
- バッテリーの交換は、指定された型番のバッテリーを使用して下さい。
- バッテリーの配線やコネクタは絶対に交換しないで下さい。
- バッテリーは使用しなくても自然放電しますので、3ヶ月ごとに24時間のバッテリー充電をして下さい。バッテリー充電をしないとバッテリーが使用出来なくなります。

バッテリーのリサイクルについて

- 本装置には鉛蓄電池を使用しております。鉛蓄電池は、リサイクル可能な、貴重な資源です。バッテリーの交換及び使用済み製品の廃棄を行う際には、鉛蓄電池のリサイクルにご協力下さい。
 - ・ 本装置のバッテリーは「廃棄物および清掃に関する法律」において「特別管理産業廃棄物」に指定されています。ルールを無視してバッテリーを廃棄することは違法です。
 - ・ 使用済みバッテリーの廃棄については
バッテリー購入先または各自治体にお問い合わせ下さい。

保守・点検に関する注意事項

危険

- 本装置の分解、修理、改造等は絶対にしないで下さい。分解、修理、改造等を行うと正常に動作しなくなるばかりではなく、感電や火災の原因となることがあります。
- 本装置の分解、修理、改造等を行った場合、または分解、修理、改造等を行ったと判断された場合は保証期間内であっても一切の修理、サポートをお断りします。
- 本装置のお手入れの際は感電する恐れがありますので、本装置の電源を切り、本装置に接続されている全ての機器を外し、壁面コンセントから入力プラグを抜いた状態で行って下さい。
- 本装置はバッテリーを搭載しているため、壁面コンセントから入力プラグを抜いた状態でも装置内部に危険な電圧が加わっている部分があります。絶対に装置内部には触れないで下さい。
- 濡れた手で本装置を触ったりプラグの抜き差しをしないで下さい。感電の恐れがあります。
- 雷が発生した場合、接続された機器やケーブル類も含めて本装置に触れないで下さい。感電の恐れがあります。

警告

- 本装置をより長く使用するために各種 LED やケーブルに異常がないか、定期的に点検して下さい。
- 設置されている部屋の温度や湿度を定期的に点検して下さい。

保守・点検に関する注意事項

警告

- 本装置のお手入れの際は、乾いたきれいな布で拭いて下さい。
水を含んだ布やぞうきんは使用しないで下さい。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤や化学ぞうきんは絶対に使用しないで下さい。

装置の保管について

強制

- 乾燥した温度の低いところに保管して下さい。
- 直射日光の当たる場所や熱源の近く、40℃を超える場所では保管しないで下さい。
- バッテリーは保管中でも劣化しますのでご注意下さい。
- 本装置の使用を再開する前には、必ず十分に充電をして下さい。

生命維持に関する

危険

- **概要**
CyberPower は、方針として生命維持装置に当社のいかなる製品もご使用頂くことをお勧めしません。生命維持装置では、CyberPower 製品の障害や誤動作によって生命維持装置に障害が発生した場合等、それらの装置の安全性や有効性が著しく損なわれることが当然予期されます。CyberPower は(a)ケガや損傷の危険性が最小となっており、(b)お客様がそのようなすべての危険性を承知し、(c)その状況のもとで CyberPower の責任が十分保護されることが書面で十分保証されるまでは、生命維持装置の領域で使用することを承知しながら当社の製品を販売することはいたしません。
- **生命維持装置とは**
生命維持装置とみなされる装置の例としては、新生児人工呼吸保育器、大人/子供兼用人工呼吸器、新生児酸素分析装置、神経刺激器、自動輸血装置、血液ポンプ、点滴ポンプ、血液透析システム、細動除去器、不整脈検出器および警告器、ペースメーカー、腹膜透析システム、麻酔人工呼吸器、およびアメリカ食物医薬品局が「生死に関わる」と指定したその他全ての装置が挙げられます。

3 製品紹介

セット内容の確認

梱包箱を開けてセット内容を確認して下さい。梱包箱には以下のものが含まれています。
不足しているものがございましたら、お買い上げの販売店または弊社にご連絡下さい。

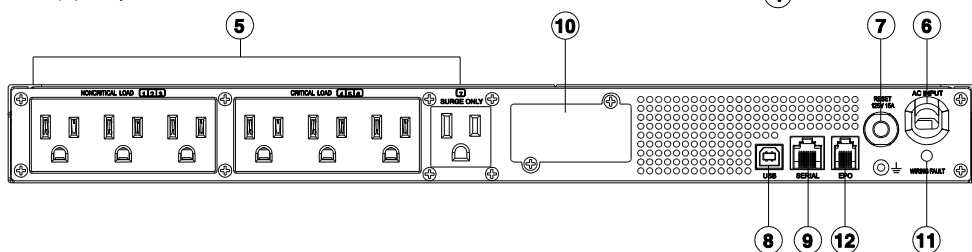
UPS 本体	1 台
取扱説明書	1 冊
ラック設置用プレート	1 本
壁掛け設置用プレート	1 本
底面プレート	1 本
取り付け方法	1 枚
USB ケーブル	1 本
緊急電源切断ケーブル	1 本
シリアルケーブル	1 本
3P→2P 入力プラグ変換アダプタ	1 個

各部の名称

フロントパネル

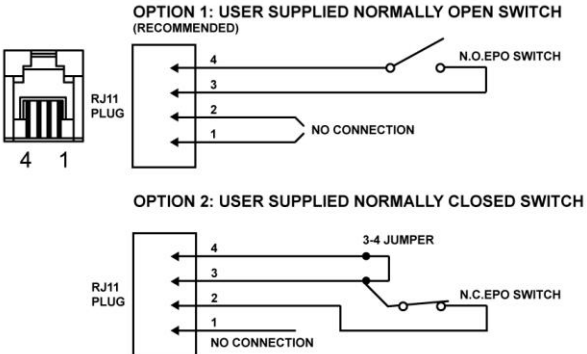


バックパネル



No.	名称	機能
1	電源スイッチ (Power Switch)	UPS電源をオン／オフします。
2	電源LED (Power On)	UPS電源のオン／オフ状態を示し、商用電源が正しく供給されているかどうかを示します。
3	液晶画面 (LCD)	液晶画面内にUPSの各種状態が画像とテキストで表示されます。
4	機能切替キー (Toggle)	液晶画面の表示内容を切り替えます。
5	バックアップ電源コンセントおよびサージ保護コンセント	本機器にはバックアップ用電源コンセントが6個、サージ保護コンセントが1個備えられています。電源システムに異常が発生した場合も接続された機器の動作は保証されます。

No.	名 称	機 能
	(Outlets)	<p>直通コンセント(Surge Only)</p> <p>直通コンセントはサージ保護機能のみを提供します。電源のバックアップやAVR関連機能は備えていません。</p> <p>プライマリ/セカンダリコンセント(Critical /Non-critical)</p> <p>ソフトウェアにて設定パラメーターを変更し、UPSがバッテリーモードに入った際にバッテリー容量のうち、プライマリコンセントへ配分する量を調整できます。UPSはセカンダリコンセントへの電源を遮断して残存バッテリー容量をプライマリコンセントへ回し、コンセントの動作時間を延ばします。</p>
6	電源コネクタ (Power Cord)	交流電源を接続します。適切な形のコンセントを使用して下さい。
7	ブレーカー (Circuit Breaker)	過負荷の際に電源接続を遮断して機器を保護します。
8	USBコネクタ (USB port)	USBコネクタはPCとUPSの通信に使用します。使用する場合、PowerPanel®ソフトのビジネスバージョンと適切なOSをインストールする必要があります。
9	シリアルポート (Serial Port)	UPSとPCの双方向通信に使用します。電源に異常が発生した際、データの消失を防ぐために電源を安全にシャットダウンしていることをUPSがPCに通知します。PCもシリアルポートを通じて、UPSの設定パラメーターを変更することが可能です。

No.	名称	機能
10	SNMP/HTTPネットワークポート (SNMP/HTTP Network slot)	SNMPカードを外部接続して、ネットワーク機能を設定することが可能です。
11	電源エラーインジケータ (Site Wire Fault Indicator)	このLEDを通じて、アース線の接続エラーやホットラインの誤配線など、電源システムの異常を検知できます。点灯した場合は、UPSに接続されている全てのコンセントを外し、電源線をチェックした後に再度接続して下さい。
12	EPO緊急シャットダウン (EPO: Emergency Power Off)	<p>火災等の緊急事態の際に、EPOを通じて直ちに電源切断信号を出力出来ます。</p>  <p>The diagram illustrates two wiring configurations for an EPO switch connected to an RJ11 plug. The plug pins are numbered 1 to 4 from bottom to top. Pin 1 is labeled 'NO CONNECTION'. Option 1, 'OPTION 1: USER SUPPLIED NORMALLY OPEN SWITCH (RECOMMENDED)', shows a switch between pins 3 and 4, labeled 'N.O. EPO SWITCH'. Option 2, 'OPTION 2: USER SUPPLIED NORMALLY CLOSED SWITCH', shows a switch between pins 3 and 4, labeled 'N.C. EPO SWITCH', and a '3-4 JUMPER' connecting pins 3 and 4. A small inset shows the physical RJ11 plug with pins 4 and 1 labeled.</p>

4 LCD 機能セットアップガイド

画面内容



商用電源モード

機能設定キー	画像				テキスト		数値表示				
					Load Cap	Battery Cap	Input Voltage	Output Voltage	Run Time	% of Load	% of Battery
初期値	V	X	--	X		V	V				
1 st	V	X	--	X		V		V			
2 nd	V	X	--	X	V					V	
3 rd	V	X	--	X		V					V
4 th	V	X	--	X					V		
5 th (復帰)	V	X	--	X		V	V				
過負荷	V	X	--	V	--	--	--	--	--	V	--

バッテリーモード

機能設定キー	画像				テキスト		数値表示				
					Load Cap	Battery Cap	Input Voltage	Output Voltage	Run Time	% of Load	% of Battery
初期値	X	V	--	X		V	V				
1 st	X	V	--	X		V		V			
2 nd	X	V	--	X	V					V	
3 rd	X	V	--	X		V					V
4 th	X	V	--	X					V		
5 th (復帰)	X	V	--	X		V	V				
4秒以上押し続ける(ミュートモード)	X	V	V	X		--	--	--	--	--	--
さらに4秒以上押し続ける(音声出力モード)	X	V	X	X	--	--	--	--	--	--	--
過負荷	X	V	--	V		--	--	--	--	V	--

"V" illuminated, "X" Not illuminated, "--" either

機能設定手順

設定モード

ステップ 1: 機能切替キーを約 10 秒押し続けると、液晶画面がUPSの設定モードに切り替わります。

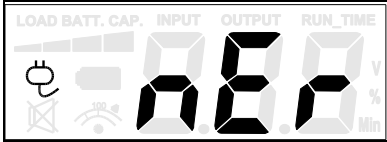

ステップ 2: 機能切替キーを押すと、設定メニューを切り替えることが出来ます。各メニューの機能は以下の通りです。

- a. 感度: UPSの商用電源電圧許容範囲を設定します。商用電源の状況に応じて電源電圧の許容範囲を設定します。この設定は出力電圧に影響を与えるので注意して下さい。

High: この設定は電源品質が安定している場合に使用しますが、UPSも電源品質が劣化した場合も判定しやすくなります。

Low: この設定を使うと電源許容範囲を大きく出来ますが、UPSがバッテリーモードに入る頻度は減ります。

- b. スケジュール セルフテスト: セルフテストを実行するタイミングを設定します。

オプション	
セルフテストを実行しません	
A03 = UPS の立ち上げ時、及び 3 か月ごとにセルフテストを実行します。 (その他、6ヶ月ごと = A06、9ヶ月ごと = A09、12ヶ月ごと = A12) A00 = UPS の立ち上げ時のみセルフテストを実行します。	

03 = UPS の立ち上げ時はセルフテストを実行せず、3 か月ごとにセルフテストを実行します。(その他、6 ヶ月ごと = 06、9 ヶ月ごと = 09、12 ヶ月ごと = 12)



- c. バッテリ寿命: バッテリの使用時間を表示します。新しいバッテリーを取り付けた際は、リセットする必要があります。
- d. ファームウェアバージョン: 現在のUPSファームウェアバージョンを表示します。

メニュー設定内容は以下の通りです。

項目	単位
感度	-
スケジュール セルフテスト	-
バッテリー寿命	年 (Y)
ファームウェアバージョン	-

ステップ 3: 機能切替キーを 4 秒間押すと、液晶画面が一瞬光り、設定値を選択できるようになります。注意: 液晶に出るはバッテリー寿命をリセットするコマンドです。

ステップ 4: 機能切替キーを再度 4 秒間押すと設定が保存され、液晶画面は元の状態に戻り、設定作業が終了します。

注意! UPS設定中に 30 秒間無入力状態が続くと、液晶画面のバックライトが消えて元のモードに戻ります。

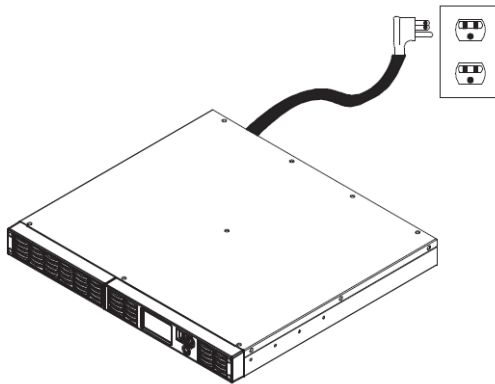
注意! 設定値を有効にせずに、元の状態に戻る場合は以下の 2 つの方法があります。

1. 液晶画面のバックライトが消えて、一般モードに戻るのを待ちます。
2. 機能切替キーを 10 秒間押し続けると、一般モードに戻ります。(ステップ 2 のみ有効です。)

5 接続

1 充電をします

UPS は開梱後すぐに使用することが可能ですが、バッテリーをフルに充電するために、使用前少なくとも 8 時間以上の充電を推奨します。工場出荷時には満充電状態ですが、輸送や保管の間にバッテリーが自然放電する場合があります。満充電での運用を行うために、念の為、最初に充電してから御使用下さい。バッテリーを充電するには UPS をアースのある 2 極 3 線式コンセント(家庭用アースなしのコンセントでも OK)に接続します。同じ電源系統に、消費電力の大きな機器(空調機、冷蔵庫、複写機など)が接続されていないことを確認して下さい。



2 UPS の出力コンセントに機器をつなぎます

UPS の電源をオフにして入力プラグを壁面コンセントから外した状態で、バッテリーバックアップを必要とするコンピュータ、モニター、その他の周辺機器をサージ保護付バックアップコンセント(停電時バックアップする)に接続します。

レーザープリンタ、ペーパーシュレッダ、複写機、室内暖房機、電気掃除機、排水ポンプなどの大型電気製品は UPS の出力コンセントに差し込まないで下さい。これらの機器の消費電力は過負荷となり UPS や接続した機器に損害を与える場合がありますので、御注意下さい。

⚠ 警告

接続する機器の消費電力の合計が、UPS の定格容量を超えていないことを確認して下さい。
装置の定格容量より使用容量が上回ると、過負荷状態となり、UPS 本体がシャットダウンしたり、UPS に内蔵されたリセットブレーカーが働く場合があります。

3 ソフトウェアのインストールをします

*PowerPanel® Business 監視ソフトは無料ダウンロードできます。

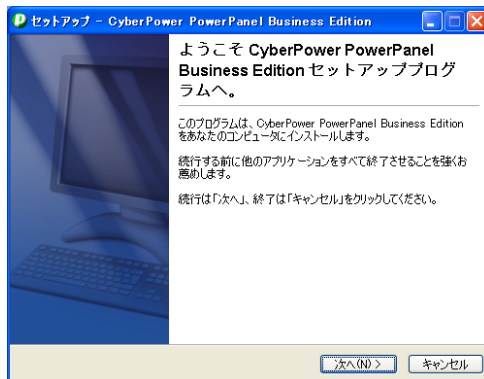
<https://www.cyberpower.com/jp/ja/software/sku1> にアクセスして下さい。

「PowerPanel® ビジネスソフトウェア」をインストールし、UPS とコンピュータを接続することで、電源状態のモニタリングなどを行うことができます。

「PowerPanel® ビジネスソフトウェア」のインストールは UPS とコンピュータを接続する前に行ってください。

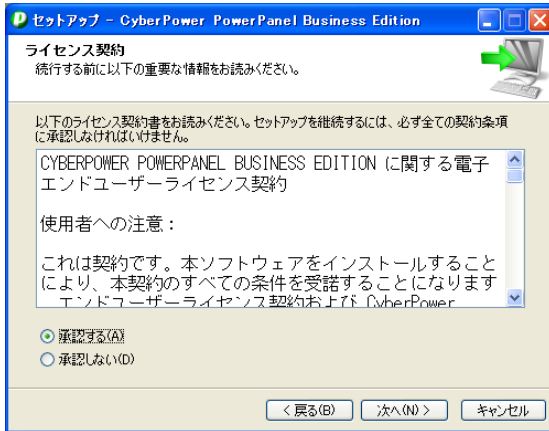
尚、説明画像は本マニュアル作成時のバージョンのものを使用しているため、ウェブダウンロードバージョンと異なる場合があります。

1. 「PowerPanel® ビジネスソフトウェア」をインストールして下さい。
2. インストールプログラムが自動起動してセットアップウィザードが表示されます。

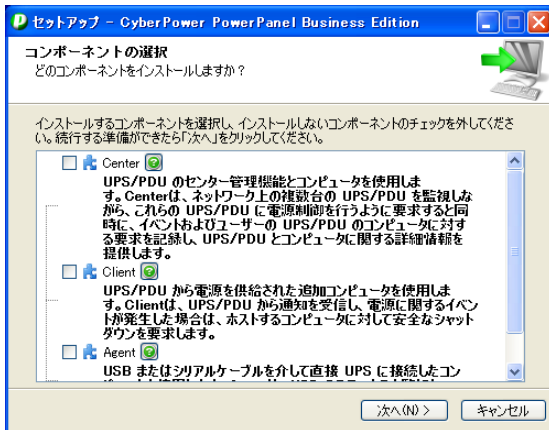


セットアップウィザードが表示されたら「次へ」をクリックして進めて下さい。

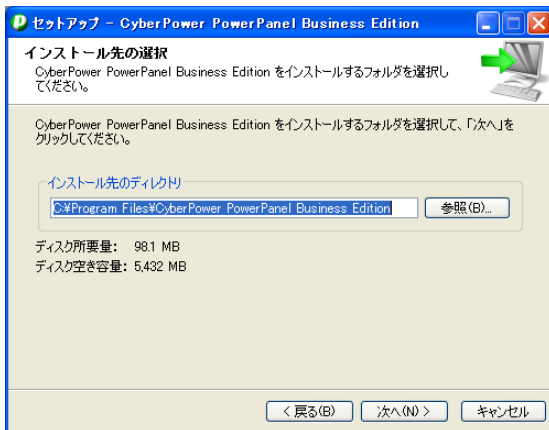
3. 使用許諾契約書をよくお読み頂き、内容に御同意頂けましたら「使用許諾契約書を承認する(A)」の先頭の○をクリックし、「次へ」をクリックして下さい。



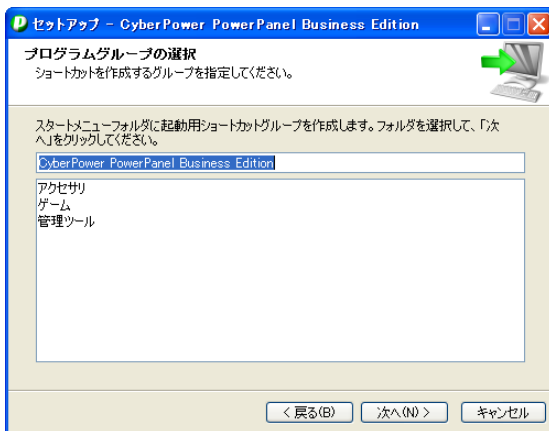
4. 使用状況に応じ、“Center”、“Client”、“Agent”のどれかを選択し、「次へ」をクリックして進めて下さい。



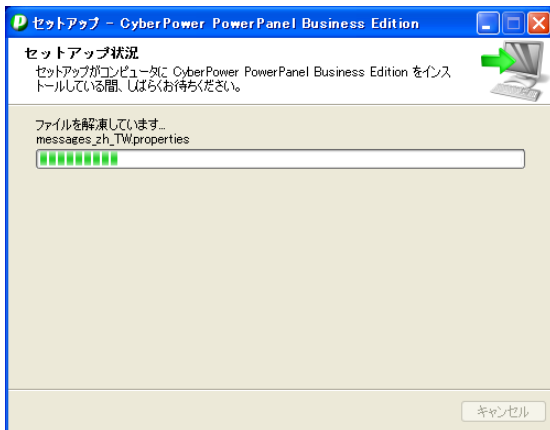
5. インストールしたいフォルダを選んで下さい。



スタートメニューフォルダでショートカット作成場所を選んで下さい。



6. 「インストール」をクリックするとソフトウェアのインストールが始まります。



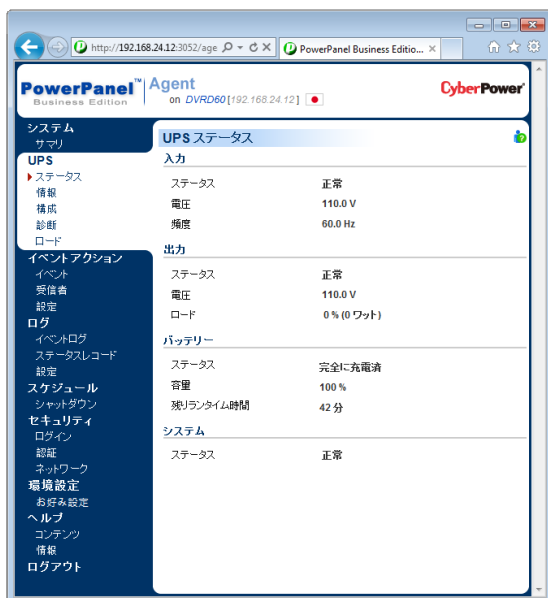
7. インストール作業が完了すると下記の画面が表示されますので、「終了」をクリックしてセットアップウィザードを終了させて下さい。



8. Power Panel Business を開いて、ユーザー名/パスワードを入力して下さい。



ステータスを確認して下さい。



ヘルプをクリックすると、バージョン等の情報が表示されます。



9. 「ヘルプ」をクリックしますと下記の画面が表示されます。画面中央の「オンラインヘルプクリック」の部分をクリックしますと、オンラインヘルプが表示されます。

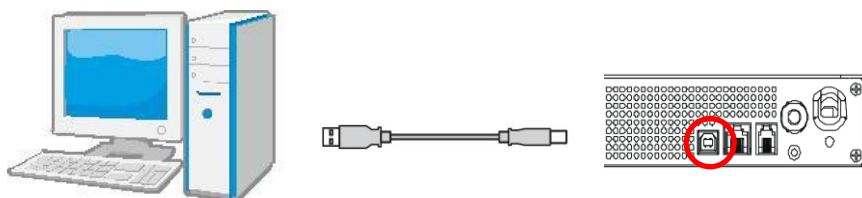


ソフトウェアの操作につきましてはマニュアルやオンラインヘルプを御参照下さい。

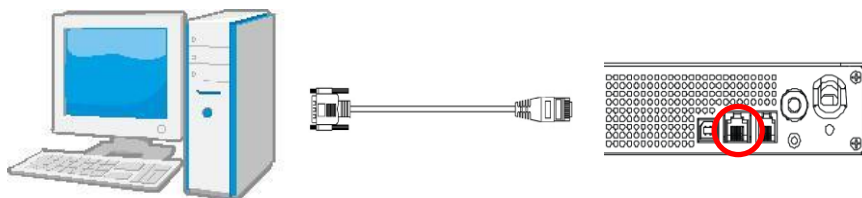
4 UPS とコンピュータを接続します

USB ポートを使用して UPS とコンピュータを接続する場合は、接続を行う前にコンピュータへ「PowerPanel® ソフトウェアビジネス」をインストールして下さい。

インストールが完了しましたら、UPS の USB ポートとコンピュータを付属の USB ケーブルで接続して下さい。

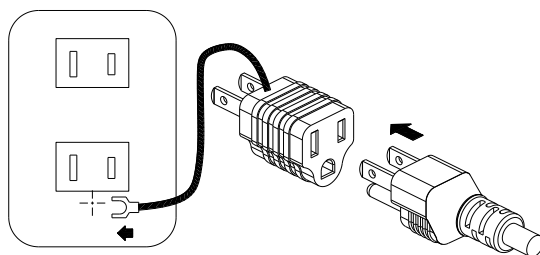


シリアルポートを使用して UPS とコンピュータを接続する場合は、事前に付属のシリアル (DB-9/RJ45) ケーブルをご用意下さい。接続を行う前にコンピュータへ「PowerPanel® ビジネス版ソフトウェア」をインストールして下さい。インストールが完了しましたら、UPS のシリアルポートとコンピュータをシリアル (DB-9/RJ45) ケーブルで接続して下さい。



6 運転

- 1 UPS をアースのある 2 極 3 線式コンセント(壁面コンセント、アースなしでも OK)に接続します。壁面コンセントがヒューズまたはブレーカーにより保護されており、消費電力の大きい機器(空調機、冷蔵庫、複写機等)が接続されていないことを確認して下さい。延長用の電源ケーブルやたこあし配線された電源に接続しないで下さい。



アースに接続します

- 2 UPS を起動するには電源スイッチで行って下さい。過負荷が検出されると、警報音として長いピープ音が 1 回鳴ります。この状態を解消するには、電源スイッチを押して UPS をオフにして、サージ保護付バックアップコンセント(停電時バックアップする)に接続されている機器を少なくとも 1 つ外して下さい。その後、10 秒以上待ってからブレーカーを押し下げ、電源スイッチを押して UPS をオンにして下さい。
- 3 バッテリーを最適な状態で使用するためには、UPS を常時壁面コンセントにつないで置いて下さい。
- 4 UPS を停止させる場合には UPS につないだ全ての機器の電源をオフにし、UPS の電源スイッチを押して UPS をオフにして下さい。パワーオン LED が消灯し、UPS が停止します。
- 5 UPS を長期間保管する場合は、カバーを掛け、バッテリーを完全充電した状態で保管して下さい。保管期間中はバッテリーの寿命を保つために 3 ヶ月毎に 24 時間のバッテリー充電を行って下さい。

注: この UPS は、輸送中にシステムの電源がオンにならないよう、最初の 1 回目は AC 電源に接続しないと、電源が入らない安全設計となっています。初回は必ず、入力プラグを AC 電源に接続して、本体の電源をオンにしてください。

7 バッテリー交換

PR1000LCDRT1U JP内蔵バッテリーの品番はRBP0112です。バッテリーを交換する場合は、最寄りの小売店にご連絡頂き、技術サポートを受けて下さい。

バッテリーのメンテナンスサービスを受ける前に、以下の安全上のご注意を読んで順守して下さい。バッテリー交換は専門の技術者に依頼し、ユーザー様が作業を確認することが可能な場所にて行って下さい。

注意！バッテリー交換の前に、電池の品番と数量を確認して下さい。

注意！バッテリー交換の前は、導電性のあるお手元の金属製装飾品(腕輪、腕時計、指輪など)を取り外して下さい。

注意！取り付け方法を誤るとバッテリーの爆発、損傷などの原因となります。正負極の方向には特にご注意下さい。取り外したバッテリーは不用意に破棄せずに、現地の小売店に依頼するか、法規で定められた通りにリサイクルして下さい。

注意！火災等の危険を避けるために、電源系統に15A以上のサーキットブレーカーが設置されていることを確認して下さい。ショート等予期せぬ危険から機器を保護出来ます。

注意！CyberPowerが認定したバッテリーや外部接続用のバッテリーボックスのみを使用して下さい。当製品用バッテリーは、ネットショップや小売店で御購入頂けます。

注意！動作環境が仕様範囲内であることを確認して下さい。高温高湿下では、バッテリーの膨張や液漏れなどの状況が発生する場合があります。感電等の恐れがあります。

注意！バッテリーは分解しないで下さい。バッテリー内部には酸性の化学物質が含まれており、皮膚に接触したり眼に入ると、腐食や刺激痛などが発生する恐れがあります。その場合、直ちに医師の治療を受けて下さい。

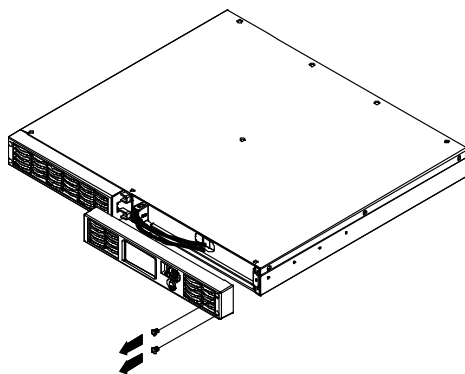
注意！バッテリーの取付中にショートや火花の発生等が起こる可能性があります。保護用の関連ツールを常に携帯するよう、特にご注意下さい。

電池交換前に、以下の予防手順を実施して下さい。

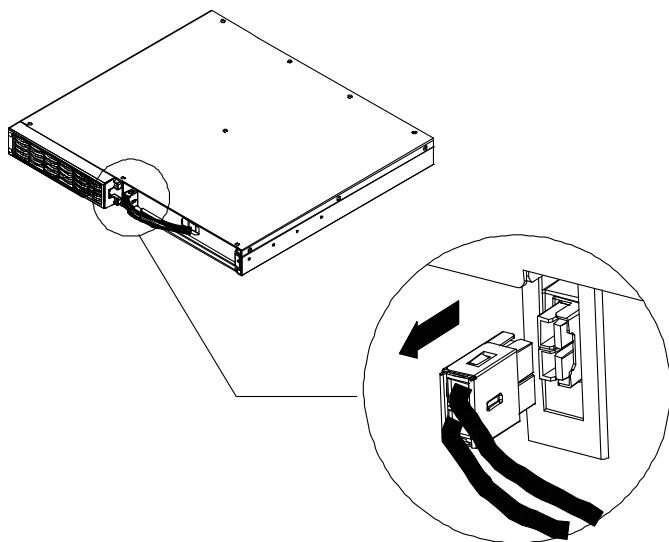
1. 腕時計や指輪等の金属製品を外し、危険を避けて下さい。
2. ドライバーなどの工具は、手を絶縁できるタイプのを準備して下さい。
3. 工具や、他のいかなる金属製品もバッテリー端子には触れさせないで下さい。
4. 絶縁機能を持つ手袋と安全靴を着用して下さい。
5. バッテリー端子に接続したり端子から取り外す前に、入カプラグを取り外して下さい。
6. バッテリーがアースに接触していないことを確認し、接触している場合は引き離して下さい。

バッテリーがアースに触れると、ショートにより感電や火災など予期しない事態の原因となります。特にご注意下さい。

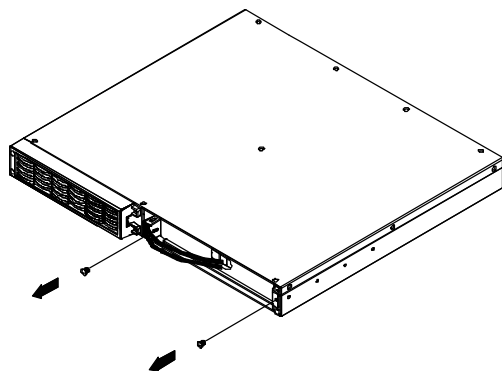
バッテリー交換



1. ドライバーで右側パネルのネジを2カ所外し、パネルを引き出します。








2. 黒色の電池コネクタを引っ張って接続を外し、バッテリーの出力回路を外します。



3. バッテリーパックを固定するネジを2カ所外し、内部電池を引き出して新しいバッテリーパックと交換します。これまでの手順を逆にたどってバッテリーパックを取り付けて下さい。

8 障害警告表示およびアラーム

1 次の表は、LCDディスプレイ上の対応する警告メッセージとマシンシャットダウン中のアラームの反応を示します。

LCD 警告表示	アラーム	状態	解決策
	長いビーブ音	過負荷です。	UPS の定格を確認するために総負荷を確認します。
 (点滅)	速いビーブ音 (30 秒)	ラインモードにおいてバッテリーが欠落しています。	UPSをオフに切り替えます。バッテリーへの配線とバッテリーの存在を確認します。
 (点滅)	アラームなし	バッテリー寿命が近づいています。	バッテリーを交換し、ソフトまたは液晶(セットアップモード)にて交換時期をリセットします。
画像はありません	速いビーブ音	過熱状態です (70°C/158°F超)。	ファンの動作と通気孔のクリアランスを確認します。
LOAD BATT. CAP. 	速いビーブ音	充電量が低下しています。一般モードでバッテリー容量が0%を示しています。	バッテリーを充電します。
LOAD BATT. CAP. 	速いビーブ音	ラインモードにおいて過充電状態です。	サービス代理店に連絡します。

警告後、上記「ラインモードにおいてバッテリーが欠落しています」と「バッテリー寿命が近づいています」以外の全てで、シャットダウンが行われます。これら2つの状態の場合、オンバッテリーアイコンが点滅し続けます。

2 次の表は、マシンシャットダウン後のLCDディスプレイ上のエラーコードに関する情報を示します。UPSのバッテリーが切れるまで、LCDはメッセージを表示し続けます。

エラータイプ	エラーコード		考えられる原因
ラインモードエラー	E0	AVR故障	AVRが破損しています
	E1	バッテリー過充電	充電器が破損しています
バッテリーモドエラー	E10	出力過電圧	出力電圧検出器が破損しています
	E11	バッテリー過電圧	予期せぬバッテリーモジュールです
システムエラー	E20	バッテリーモード、出力電圧なし	UPS/接続装置が短絡しています
			出力電圧検出器が破損しています
			インバーターが破損しています
	E21	ユーティリティモード、出力電圧なし	UPS/接続装置が短絡しています
			出力電圧検出器が破損しています
			入力リレーが破損しています
	E22	出力過負荷	接続された装置が多すぎます
			出力電圧検出器が破損しています
	E23	変圧器過熱	変圧器が過熱しています
	E24	インバーター過熱	ヒートシンクが過熱しています
E25*	EPOによる電源オフ	EPOによりシャットダウンされました	
E26	AC入力過電流	AC入力電圧が低下しています	
E27	入力電流フィードバック異常	入力電流センサーが破損しています	
E28	出力電流フィードバック異常	出力電流センサーが破損しています	

* これは、EPOを搭載した製品の場合です。

9 故障かな？と思ったら

本装置を使用するにあたり、故障かな？と思ったら以下の項目に沿って確認を行って下さい。
問題が改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談下さい。

- 1 サージ保護付バックアップコンセント(停電時バックアップする)の電気供給が停止し、ブレーカーが飛び出た状態になっている。

原因: 過負荷によりブレーカーが働いた。

対策: 電源スイッチを押して UPS をオフにして、サージ保護付バックアップコンセント(停電時バックアップする)に接続されている機器を少なくとも 1 つ外して下さい。

その後、10 秒以上待ってからブレーカーを押し下げ、電源スイッチを押して UPS をオンにします。

- 2 UPS の最大運転時間が期待時間を下回っている。

原因: バッテリーの充電が不十分。

対策: 出力コンセントにつないでいる全ての機器を外し、24 時間バッテリーを充電して下さい。

原因: バッテリーが消耗している。

対策: バッテリーの充電を行い、改善されない場合はバッテリーの交換をして下さい。

バッテリーの交換については株式会社サイバーパワー・ジャパンの WEB サイト
<https://www.cyberpower.com/jp/ja> よりお問い合わせ下さい。

3 UPS の電源がオンにならない。

原因: 電源スイッチの急なオン、オフ操作による損傷を防止する設計

対策: 10 秒以上待ってから電源スイッチを押して、UPS をオンにします。

原因: UPS が正常なコンセントに接続されていない。

対策: UPS は電圧 100V、周波数 50Hz/60Hz コンセントに接続して下さい。

原因: バッテリーが消耗している。

対策: バッテリーの充電を行い、改善されない場合はバッテリーの交換をして下さい。

バッテリーの交換については株式会社サイバーパワー・ジャパンの WEB サイト

<https://www.cyberpower.com/jp/ja> よりお問い合わせ下さい。

4 PowerPanel®ビジネスソフトウェアの全てのアイコンがグレー表示(非アクティブ状態)になっている。

原因: UPS とコンピュータが接続されていない。差込口やケーブルの不良等。

対策: USB ポート又はシリアルポートを使用して UPS とコンピュータ を接続して下さい。

違う差込口やケーブルで試してみてください。

原因: バッテリーの電気が供給されていない。

対策: コンピュータをシャットダウンしてから、電源スイッチを押して UPS をオフにします。

その後、10 秒以上待ってから電源スイッチを押して UPS をオンにします。

これで装置をリセットできます。

5 Battery Expired の表示が出ている

原因： バッテリー交換時期が来て、バッテリー交換推奨表示が出ている

対策： バッテリーを交換し、点滅をリセットして下さい。

備考:点滅＝バッテリー使用不可ではありません。バックアップできる時間を実測し、仕様と大差がなければ交換する必要はありません。

6 バッテリー交換をする必要はありませんが、Battery Expired 等の表示が出る

原因： 前回バッテリー交換後、リセット作業を行っていない

対策： PowerPanel® Personal / PowerPanel® Business ソフトウェア

又は液晶セットアップモードでリセットして下さい。推奨表示は消えます。

10 仕様

仕様

型番	PR1000LCDRT1U JP
容量	1000VA / 750W
定格入力電圧	100Vac
入力周波数	50/60 Hz +/- 3Hz (自動感知)
バッテリー出力電圧	100Vac
バッテリーの出力波形	正弦波
使用環境温度	0°C - 40°C
使用環境相対湿度	0 - 95% (無結露)
コンセント	NEMA 5-15R x6 NEMA 5-15Rストレート x1
外形寸法 (奥行き x 幅 x 高さ)	397 X 433 x 44 mm
重量	16.3 kg
バッテリータイプ	RBP0112 (長寿命)
標準バッテリー充電時間	6 時間 90%
標準バッテリー寿命	5 年 (25° C期待値)
交換用バッテリー	CyberPower Webサイトを参照して下さい
安全規格	VCCI Class A

期待動作時間一覧表 (分)

モデル	50w	100w	200w	300w	400w	500w	600w	700w
PR1000LCD RT1U JP	127	91.7	21	15.9	11.5	8.3	5.2	4

11 省エネルギー技術 GreenPower UPS™

CyberPower の環境への取り組み

CyberPower は、グリーン製品（環境に配慮した製品）の開発に注力しており、事業を通じて、クライメート セーブズ コンピューティング イニシアチブ(CSCI)にメンバーとして参加し、特定有害物質使用制限指令(RoHS)、廃電気電子機器指令(WEEE)製品、および ISO 14001 や IECQ QC080000 などへの準拠を含む、環境への取り組みを心掛けています。CyberPower は、環境に優しい先進的なエネルギーソリューションを提供し、環境にやさしい企業として UPS 業界を主導することをお約束します。

GreenPower UPS™テクノロジーでエネルギーコストを削減

CyberPowerは、環境に優しい製品を提供するだけでなく、消費者に最高の価値をもたらすことを目標としています。高度な省エネ設計により、運転効率を向上させ、無駄なエネルギー消費を排除します。CyberPowerのGreenPower UPS™テクノロジーを採用することで、消費者はエネルギーコストを大幅に抑えることができます。



Active PFC 対応

この CyberPower UPS システムはアクティブ力率補正（アクティブ PFC）により高効率の電源装置に対応しています。アクティブ PFC は、電源供給効率を向上するために使用されます。コンピュータの US Energy Star®プログラム要件（バージョン 5.0）では現在、全ての 100 ワット以上の電源装置に対してアクティブ PFC の内蔵を義務付けています。また、80 Plus®等のプログラムはアクティブ PFC による高効率電源装置の識別のためにしばしば使用されます。

12 保証規定

本保証規定は株式会社サイバーパワー・ジャパンより日本国内に出荷された製品を、保証期間内の正常な使用状態において故障したと認められた場合に限り、弊社の定める方法にて無償修理対応を行うものです。

1 保証期間

保証期間は お買い上げ日より36ヶ月間 です。

保証をお受けになる場合は弊社の発行する保証書と、製品型番、お買い上げ日、お買い上げの販売店名が明記されたレシートまたは伝票等の購入履歴の証明が必要となります。

並行輸入品、中古品、インターネットオークションを含む個人間の売買や譲渡によって入手された製品は保証対象外とさせていただきます。

2 保証内容

保証期間内の正常な使用状態において故障したと認められた場合、弊社の定める方法にて無償修理対応を致します。

修理が難しいと判断をした場合は同製品または同等製品との交換とさせていただきます場合がございますのでご了承下さい。購入後1ヵ月以内のみ新品交換と致します。

修理依頼にかかる送料は、発送時にご依頼主様の元払い、返却時は弊社の元払いとさせていただきます。

修理預かり期間中の代替品出荷や貸し出しは出来かねます。

故障した製品の原因追及や解析等の調査は出来かねますのでご了承下さい。

3 保証対象

保証対象はお買い上げいただいた製品単体の保証となります。

製品に接続している機器やデータ、記録、ソフトウェア等を含むその他の製品の保証をするものではないです。

また、後述する保証対象外事項 1 項目でも該当する場合は、保証期間内であっても理由を問わず保証対象外とさせていただきます。

4 保証対象外事項

保証期間内であっても次の項目に 1 項目でも該当する場合は、理由を問わず保証対象外とさせていただきます。

- ・製品型番、お買い上げ日、お買い上げの販売店名が明記されたレシートまたは伝票等の購入履歴の証明が出来ない場合。
- ・並行輸入品、中古品、インターネットオークションを含む個人間の売買や譲渡によって入手された場合。
- ・株式会社サイバーパワー・ジャパンより出荷された製品と確認できない場合。
- ・説明書やマニュアル等に記載されている内容と異なる接続方法や使用方法により発生した故障や損傷の場合。
- ・他の製品との組み合わせにより発生した相性等の不具合や故障、損傷の場合。
- ・お使いのコンピュータの設定や環境等に起因する不具合や故障、損傷の場合。
- ・輸送、移動、設置時の落下や衝撃等による損傷があった場合。
- ・正常な使用状態だったと判断できない消耗や損傷があった場合（完全放電後、直ちに充電せず、バッテリーが劣化した等）
- ・製品の仕様に適合しない機器を接続したことにより発生した故障や損傷の場合。
- ・弊社以外での分解、改造、調整、部品交換、修理等をした場合。
- ・火災、地震、水害、落雷、その他の天災や異常電圧等による故障や損傷の場合。

- ・製品にシリアル番号が貼付されていない場合。
- ・購入履歴やシリアル番号等が汚損等により確認できない場合や改竄の形跡が認められる場合。
- ・日本国外で使用した場合。

5 免責事項

製品の運用または製品の運用不能に起因する損害(接続している他の機器の損傷、事業利益の損失・事業の中断・事業情報の損失、逸失利益やその他の金銭的損害を含む)については、弊社では一切の責任を負わないものとします。

本保証規定は予告なしに変更をすることがありますが、適用する保証規定は お買い上げ日の時点で有効な保証規定とします。

2019年6月制定

株式会社サイバーパワー・ジャパン

13 安全規格適合宣言



この装置は、クラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

14 保証書

次のページの保証書に必要事項をご記入の上、製品型番、買い上げ日、お買い上げの販売店名が明記されたレシート又は伝票等の購入履歴の証明と併せて、大切に保管して下さい。修理依頼の手順や修理についてのお問い合わせは株式会社サイバーパワー・ジャパンのWEBサイト <https://www.cyberpower.com/jp/ja> で御確認下さい。

保証書

製品型番 PR1000LCDRT1U JP

保証期間 36ヶ月

お名前

ご住所 〒

電話番号

FAX番号

メールアドレス

お買い上げの販売店

お買い上げ日(年月日)

シリアルナンバー

株式会社サイバーパワー・ジャパン

〒102-0071

東京都千代田区富士見 2-3-1

信幸ビル 302号室

TEL: (03) 5357-1389

FAX: (03) 5357-1390

<https://www.cyberpower.com/jp/ja>

CyberPower[®]